

音楽・舞台

「子どもにも一流の演奏を」活動10周年

本物の音楽に触れ、心を動かす体験を子どもたちに。そんな趣旨で活動するNPO法人「子どもにも音楽を」が19日、東京・四谷の紀尾井ホールで設立10周年の記念演奏会を開く。ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターの榎本大進、ドイツを拠点に活躍するピアニスト小菅優、チェリストのクラウディオ・ボルケスがベートーベンのピアノ三重奏曲3曲を演奏する。

「子どもにも音楽を」は、一流の演

奏家を小中学校の音楽室などに派遣し、本格的な演奏会と同じプログラムを子どもたちにきかせている。理事長は徳永扶美子。1996年に55歳で亡くなった夫でチェリスト、徳永兼一郎が後進の育成に情熱を燃やしたことから遺志を継ぎ、創設。これまで全国16都市で約240回公演を開いた。収益は学校公演での費用に充てる。5千円、高校生以下千円。045・971・0050(子どもにも音楽を)。(編集委員・吉田純子)